

みおしえ学習会 【八つのほこりに学ぼう】

問1) 次の□に文字を入れ、「八つのほこり」についての文章を完成させましょう。

ほこり … おしい、ほ□□、にくい、か□□、うらみ、は□□□、よく、こ□□□

ほこりとは、□□□の思召に沿わない、自□□心の心遣いのこと。

問2) 次の□に下から漢字を選んで入れ、文章を完成させましょう。

おしい：□の働き、□の働きを惜しみ、税金など納めるべき物を出し惜しみ、世のため、道のため、人のためにすべき相応の務めを欠き、借りたる物を返すのを惜しみ、□な事は人にさせて、自分は□をしたいという心。すべて、天理に適わぬ出し惜しみ、□惜しみの心遣い

[心 体 身 好 嫌 苦 楽 骨]

ほしい：心も尽くさず、身も働かずして金銭を欲しがり、不相応に良き物を着たがり、食べたがり、また、あるが上にも欲しがるような心。何事もたんのうの心を治めるのが肝心であります。

問3) 「たんのうの心」とは、思いつくことを書いてみましょう。

にくい：自分のためを思っていてくれる人に、かえって気を悪くして反感を持ち、あるいは、自分の気に入らない、癪に障ると人を毛嫌いし、陰口を言って、そしり笑うような心。また、銘々の身勝手から夫婦、親子など身内同士が、いがみ合うのもほこりであります。

問4) 次の□に同じひらがな2文字を入れ、文章を完成させましょう。

かわい：□□身さえ良ければ、人はどうでもよいという心。□□子を甘やかして食べ物、着る物の好き嫌いを言わし、仕込むべき事も仕込まず、間違っ事も意見せず、気ままにさせておくのは、よろしくありません。また、□□身を思って、人を悪く言うのもほこり。□□身□□子が可愛ければ、人の事も思い、人の子も可愛がらねばなりません。

問5) あなたは、「にくい」と「かわい」のほこりのどちらを積みやすいですか？

また、それは、どんなシチュエーションでしょうか？

【 にくい ・ かわい 】

問6) 次の□に漢字1文字を入れ、文章を完成させましょう。

うらみ：顔をつぶされたとして□を恨み、望みを妨げられたとして□を恨み、誰がどう言ったとして□を恨み、根に持ち、銘々、知恵・力の足りないことや、徳のないことを思わず、□を恨むのはほこりであります。□を恨む前に、わが身を省みることが大切であります。

はらだち：腹が立つのは気ままからであります。心が澄まぬからであります。人が悪い事を言っただ腹を立て、誰がどうしたとして腹を立て、自分の主張を通し、相手の言い分に耳を貸そうとしないから、腹が立つのであります。これからは腹を立てず、**天の理を立てる**ようにするがよろしい。短気や癪癪は、自分の徳を落とすだけでなく、命を損なうことがあります。

よく：人より多く身に付けたい、何が何でも取れるだけ取りたいという心。人の目を盗んで数量をごまかし、人の物を取り込み、あるいは、無理な儲けを図り暴利をむさぼる。何によらず、値を出さずわがものにするのは強欲。また、色情に溺れるのは色欲であります。

問7) 欲と言っても、ほこりになるものもあれば、反対にほこりにならないものもあります。例えば、どんな欲がほこりにならないと思いますか？ 具体的に書いてみましょう。
【ほこりにならない欲】

問8) 次の文章のA～Eで、思い当たる所はありますか？ またそれは、どんな場面でしたか？ 自分や自分の周りを振り返って考えてみましょう。

こうまん：

A (思い上がってうぬぼれ、威張り)、 B (富や地位をかさに着て、人を見下し、踏みつけにする) ような心。また、 C (目上に媚び、弱い者をいじめ)、あるいは、 D (頭の良いのを鼻にかけて、人を侮り)、 E (知ったかぶりし、人の欠点ばかり探す)、これはこうまんのほこりであります。

問9) 「八つのほこり」の中で自分が積みやすい「ほこり」はどれでしょう。また、どんな時に「ほこり」を積みやすいでしょうか。自分を振り返って考えてみましょう。
○積みやすい「ほこり」：

○「ほこり」を積みやすい時：

◆ささいな「ほこり」の心遣いも積み重なると、ついには十分な御守護を頂けなくなります。そこで、親神様の教えをほうきとして、たえず胸の掃除に努めるとともに、人には「ほこり」を積まされぬよう心を配らねばなりません。

問10) 「教えをほうきとして、胸の掃除をする」とは、どの様にすることだと思えますか？

今日の学習で一番心に残った言葉や、事柄は何ですか？
また、今後何を心掛けていきたいと思えますか？

◆人間の身体は、親神様からの「かりもの」で、心だけが自分のものであります。身体をはじめ、身の周りの一切は銘々の心通りに御守護下さいませ。